

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年9月10日発行 令和6年度 第12号 更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

学校運営協議会及びコミュニティ・スクール委員会合同研修会

8月26日、村内各小中学校学校運営委員会及びCS委員会との合同研修会を社会福祉センターで開催し、47名が参加しました。前半は、「部活地域移行への改革」と題しての講演、後半はグループワークを行い、子どもの自己肯定感を高めるために大人はどう関わっていったらよいかを学びました。

前半 【部活地域移行への改革】



講師の中札内村教育委員会 部活動地域移行コーディネーター 高橋慎さんは、国のガイドラインや道の推進計画、十勝の動きについて説明したほか、更別村の少年団・部活動の現状や中札内村での取り組みを紹介しました。

「部活動地域移行を進めるには、地元の大人たちが地元の子どもたちのために真剣に議論することが大切」と話されるとともに、広域連携も二村で議論する場を作っていけたらと述べました。

【参加者の感想】大変有意義な時間でした。大変興味深い内容だったので、いろいろな人の意見を聞いて子どもたちにとっていい方法を見つけたいと思います。

後半 テーマ【子どもの自己肯定感を高めるには】

グループに分かれて「こんな事例の時、大人（親・地域・学校）はどんな言葉かけをしていくと良いのか」を、まずは個人で考えました。その後、2人、4人グループで交流、役割演技（ロールプレイ）し、グループで熟議しました。どのグループも楽しく練習できました。

【参加者の感想】・まずは認める受けとめる、そして、信じてあげることが大切だと思いました。・ロールプレイを通して学ぶことはとても良い。当事者意識に立っているから。



▲4人でロールプレイ



▲グループで熟議



▲ロールプレイ発表